

議会だより

吉富町 

No.67

8 .2023



ヘルメットを着用して登校する吉富中学校生徒

CONTENTS

定例議会報告	2	常任委員会経過	6
議員提出案件	4	町政を問う(一般質問)	9
議案審議結果表	5	議会・議員活動	12



令和5年6月定例町議会は、6月6日から20日までの15日間開催され、予算3件、条例2件、人事2件、議員提出案件1件について審議を行った結果、全ての議案が可決（人事案件については同意）となりました。

令和5年度吉富町一般会計補正予算（第2号）について



補正予算の追加 3億6,377万円
予算総額 39億378万4千円

歳入の主なもの

新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	761万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	1,560万3千円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,927万8千円
社会資本整備総合交付金	2,250万円
道路更新防災対策事業費補助金	3,712万3千円
デジタル田園都市国家構想交付金	1,337万5千円
農業農村整備事業補助金	1,090万円
財政調整基金繰入金	9,711万2千円
ふるさと吉富まちづくり応援基金繰入金	1,428万9千円
町債	8,620万円

歳出の主なもの

新型コロナウイルスワクチン追加接種事業	2,321万3千円
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業	3,200万円
漁業用燃油価格高騰対策事業	126万円
プレミアム付商品券事業	950万円
小学生給食費の全額助成、中学生給食費の半額助成事業	1,357万6千円
こども医療扶助（高校生拡充分）事業	376万5千円
地域力創造アドバイザー事業	560万円
高度情報化推進事業	2,983万1千円
介護予防ポイント事業	107万8千円

低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金給付事業	482万円
こどもの森改修事業	1,456万2千円
あいあいセンター改修事業	1,800万円
第三者所有方式による吉富小学校舎への太陽光発電装置設置事業	480万円
ため池実施計画策定事業	1,529万円
道路新設改良事業	1億972万2千円
公園整備事業	946万円
かわまちづくり事業	3,498万円

<主な討論内容>

反対

岸本議員：「地域力創造アドバイザー事業」での人選に客観性が欠けており、不十分と考えます。「かわまちづくり事業」は大雨による増水により、設置物が壊れる懸念があるので反対します。

太田議員：「かわまちづくり事業」は、増水により過去にテニスコートのコートが剥がれる等の被害を受けており、今回整備するバスケットコートも同じように被害を受けることが考えられるので反対します。

賛成

丸谷議員：遊具点検により、改修が必要となった公園遊具の改修費用や小・中学生の給食助成費が計上されています。給食費の助成は来年度以降も財源を捻出し、ぜひ続けてほしいとの意見も述べ賛成します。

矢岡議員：骨格予算の肉付け予算としての今回の補正において、更なる福祉の向上が期待されることから賛成します。

向野議員：子育てしやすいまちづくり推進のため給食費助成、こども医療費の拡充予算が計上され、介護予防の推進のため介護予防ポイント事業が新設され、防災のため狭あい道路整備予算が計上されていることから賛成します。

令和5年度吉富町水道事業会計補正予算（第1号）について

収益的支出の減額 394万4千円

※討論なし



令和5年度吉富町下水道事業会計補正予算（第1号）について

収益的収入の減額 304万6千円

収益的支出の減額 325万6千円

※討論なし



予

算

条

吉富町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する 条例の制定について



現在中学生まで実施している医療費の一部助成を、高校生まで拡充するための条例改正です。

※討論なし

例

吉富町奨学金条例の一部を改正する条例の制定について



今まで以上に申請者の状況を詳しく把握したうえで審議を行うために、運営審議会会長を「町長」から「教育長」へ、委員を「町議会議長、副議長、総務文教委員長、教育長、中学校長、民生委員会代表者」から「中学校長、民生委員・児童委員」へと変更するための条例改正です。

※賛成討論 向野議員

人

固定資産評価審査委員会委員の選任について



令和5年6月23日をもって任期が満了する木戸 信一氏を再選任にすることについて、同意を求められました。

※討論なし

事

農業委員会委員の任命について



令和5年7月19日をもって任期が満了となるため、新たに14名の委員を任命することについて、同意を求められました。

※討論なし

議員提出案件

吉富町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について



議会に対する信頼確保を図るため、疾病などの理由により90日を超える期間において議員活動ができない場合、議員の報酬と期末手当の支給額を期間に応じて2割から5割を減額するための条例案を議員自らが提出しました。

※討論なし

繰越明許費繰越計算書について（一般会計）

令和4年度吉富町一般会計予算のうち、翌年度に繰り越した事業の報告がありました。

繰越した事業名

- 地方公務員定年引上げ対応人事給与システム改修事業
- インボイス対応財務会計システム改修事業
- 道路更新防災対策事業
- 町営幸子団地住戸改善等改修事業

繰越計算書について（水道事業会計）

令和4年度吉富町水道事業会計予算のうち、送水ポンプ施設改良及び配水管布設替工事請負費を翌年度に繰り越す報告がありました。

繰越計算書について（下水道事業会計）

令和4年度吉富町下水道事業会計予算のうち、管渠築造工事請負費を翌年度に繰り越す報告がありました。

経営状況の報告について（土地開発公社）

令和4年度吉富町土地開発公社の経営状況についての報告がありました。

議案審議結果表 ※採決が分かれた議案のみ記載

「○」…賛成 「●」…反対
 「議長」…議長職のため表決に参加しない
 「-」…当日、欠席等により表決に参加しない

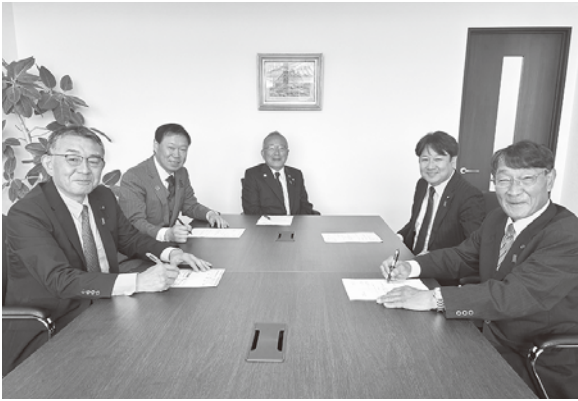
区分	議案番号	議案等の名称	審議結果	賛成	反対	新保祐介	丸谷宏一	角畑正数	向野倍吉	太田文則	横川清一	是石利彦	岸本加代子	矢岡匡	山本定生
6月定例会	議案第33号	令和5年度吉富町一般会計補正予算（第2号）について	可決	6	3	○	○	●	○	●	○	○	●	○	議長

委員会経過

(多数の質疑(答弁)、意見から抜粋)

本会議で全ての議案を審議することは困難であるため、自治体では議会の常設機関として複数の常任委員会を設置し、議員が分かれて、能率的、機動的に議案を審査しています。本町議会には、総務文教委員会、福祉産業建設委員会、予算決算委員会があり、全議員が所属する予算決算委員会では、一般会計予算と決算について審査をおこなっています。

総務文教委員会



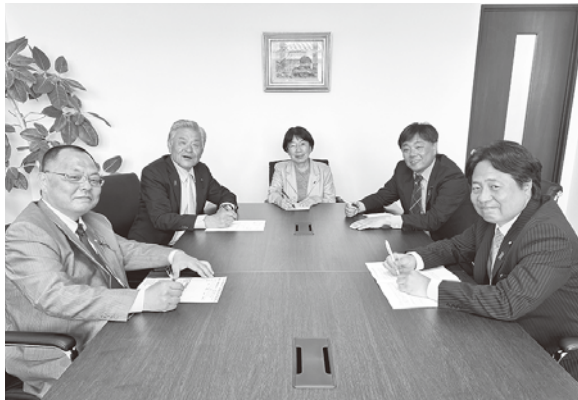
◎議会から付託された下記の内容を審議しています。

所管事務

- 未来まちづくり課の所管事務
- 総務財政課の所管事務
- 住民課の所管事務
- 税務課の所管事務
- 教育委員会の所管事務
- 他の委員会の所管事務に属さない事務

左から 向野 倍吉委員、矢岡 匡委員、是石 利彦委員長、丸谷 宏一委員、横川 清一委員

福祉産業建設委員会



◎議会から付託された下記の内容を審議しています。

所管事務

- 福祉保険課の所管事務
- 子育て健康課の所管事務
- 上下水道課の所管事務
- 建設課の所管事務
- 地域振興課の所管事務

左から 山本 定生委員、太田 文則委員、岸本 加代子委員長、角畑 正数委員、新保 祐介委員

総務文教常任委員会経過

吉富町奨学金条例の一部を改正する条例の制定について

【意見】

申請者の事情を考慮した審議が可能となり、今まで以上に安心して学びができる奨学金制度になると思います。

【審査結果】 原案のとおり可決すべきとの結果になりました。

福祉産業建設常任委員会経過

吉富町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【審査結果】 原案のとおり可決すべきとの結果になりました。

令和5年度吉富町水道事業会計補正予算（第1号）について

【審査結果】 原案のとおり可決すべきとの結果になりました。

令和5年度吉富町下水道事業会計補正予算（第1号）について

【審査結果】 原案のとおり可決すべきとの結果になりました。

予算決算委員会経過

議会が
チェック

注目事業

令和5年度吉富町一般会計補正予算（第2号）について

小学生・中学生の給食費助成事業について

現在おこなっている小学生給食費の半額助成を、国からの臨時交付金を財源として、今年度においては、全額助成、更に中学生給食費に半額助成をおこなう。

【質疑】 臨時交付金を活用しての今回の給食費助成事業については、来年度以降の継続の予定はありますか。

【答弁】 今後も小学生給食費は全額助成を行いたいと考えますが、財源を伴う事なので財政部局と相談しながら、今後の方針を決めたいと思います。

かわまちづくり事業について

山国川河川敷にバスケットコート、デイキャンプ場を整備。

【質疑】 洪水・浸水対策はどのように考えていますか。

【答弁】 バスケットコートとデイキャンプ場の整備等につきましては、浸水を想定した設計となっています。

地域力創造アドバイザー事業について

新しいまちの提案、脱炭素のまちづくりなどの他、町の活性化を図るために、NPO法人エコリテラシー協会の曾根 進さんをアドバイザーとして派遣依頼。

【質疑】 地域力アドバイザー502名の登録者の中から、曾根 進さんを選んだ背景、理由を教えてください。

【答弁】 内閣府の地方創生推進事務局員を勤務した経験があり、昨年度は脱炭素の教育講



岸本加代子 議員

ゴミ袋について

問 現在ゴミ袋の値上げに議会が関与できないため、町民の声を反映させることができません。条例化が必要と考えるがどうでしょうか。



答 住民課長
本町は、ごみの減量化、資源化の推進、

収集作業の安全、収集効率、有害物質を出さない素材の採用を目的に、手数料の上乗せのない指定ゴミ袋制度を導入しており、その価格は基本的に製造販売業者が決定するものです。環境省は手数料を上乗せする有料化をSDGs実現に有効としており、本町においても今後の検討課題と考えます。

令和2年度における企業版ふるさと納税について

問 令和2年度の制度開始当初の仲介業者への45%マージンは妥当なのか。その代替として仲介を行った業者がプロポーザル入札へ参加したことは妥当なのか、見解を求めます。

答 未来まちづくり課長
2年度の45%マージンについては、事前に議員の皆様には町で納税企業を探すのは難しいことや、残り55%は町の事業費に充てることのできるメリットを説明してスタートしましたが、3年度以降は一般的には高価との判断からやめています。4年度は仲介をしたコンサル業者から、実績づくりのためマージン無しで仲介を行いたいとの意向があり、マージンを支払っていませんが、このふるさと納税を財源とする事業の公募型プロポーザルに応募し、1社のみ応募でありましたが、職員による審査を経て業務委託契約を結んでおり、問題はないと考えます。

問 アサヒポジストワンから1,000万円の企業版ふるさと納税が広報に掲載されていないのはどうしてですか。

答 未来まちづくり課長
(相手) 企業からの申請時の要望により未掲載となっています。

福岡銀行からの企業版ふるさと納税について

問 OKI電気の広報誌にセルフ収納機を「福岡銀行との共同提案」により、吉富町に納入、2月24日より運用との記事があり、一方、福銀からの納入日は3月31日。この説明を求めます。また、福銀とOKI電気との共同提案であれば寄付控除のみが認められる単なる寄付ではないのでしょうか。また、共同提案でないとなれば、入札はおこなったのでしょうか。

岸本議員つづき

答

未来まちづくり課長、検査会計室主幹

日付のずれは、2月24日以前から寄付の申し出があり、実際に入金を受けた日が3月31日であったためです。共同提案という認識は無く、セルフ収納機の購入は寄付を行った福岡銀行に直接的な利益供与が無いので企業版ふるさと納税に該当すると考えていますが、最終的には税務署が判断することになります。データで収納情報を管理できる機種があるのはOKI電気のみであったので、OKI電気から随意契約で購入しました。

※他に「不登校の子どもたちへの教育の保障」、「ツクローネ吉富」について質問をしました。



新保 祐介 議員

脱炭素の取組について

問

SDGs脱炭素について、今後も教育分野での取組はされますか。

答

教育長

本年度から4ヵ年「吉富町教育大綱」を改定し、基本方針と主な施策に「脱炭素教育の導入」を位置付けています。このことを受けて、児童が脱炭素の取組を実践できるようにするため、「吉富町脱炭素教育テキスト」を使用した授業を進めることで、地球温暖化の仕組み、二酸化炭素を減らすためにできること等を学んでもらいます。小学校5、6年生では年間15時間程度の総合的な学習の時間等で、町とともに歩む脱炭素教育に重点を置いて進めます。



問

脱炭素の今後の継続事業および新規事業についてお聞きします。

答

住民課長

令和3年10月3者間で官民パートナーシップによるSDGsの実践を目的とした脱炭素社会の実現に向けた包括連携協定を締結しましたが、対応しきれない「高圧電力を使用している施設」についても、今後、太陽光発電システムの設置を順次、進めてまいります。そして、脱炭素として小学校屋上に太陽光のパネル設置の計画をしています。また、昨年度同様に「よしみエコまちプロジェクト」で省エネ家電への買替えに奨励金を交付する取組を、奨励メニューに新たにテレビを加えまして事業を開始しています。

答

未来まちづくり課長

今後の新たな取組につきましては、財源の確保も非常に重要な課題となりますので、まずはお金をかけずに、広報でのSDGsに関する情報発信をしっかりと継続的に行い、一方では、新規事業につきましては、現時点で決定事項としての事業は未定ですが、これまでの取組を行う中で、首都圏へのシティプロモーション等も行った結果、財源となるふるさと納税の問合せが数社から来ている状況です。これらの事業の検討に当たりましては、国の内閣府にも在職経験



新保議員つづき

があり、豊富な知識と人脈をお持ちの地域力創造アドバイザーも活用いたしながら、今後の事業計画を構築してまいりたいと考えております。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組について

問 昨年、導入しました高性能PC（パソコン）について、今後、町民に触れる機会をどのようにお考えでしょうか。

答 教務課長

今後の高性能PCの活用については、生涯学習事業をベースとし、新たな付加価値として取り入れることが多様な学習機会の創出、時代に合った人材の育成につながるものと期待をしています。今後は画像編集やプログラミング、町のスポーツ協会が取り組んでいるeスポーツなどに触れる機会を作りつつ、自宅に居ながら講座を視聴できるような配信型事業の展開も検討したいと考えます。

※他に「デジタル人材の育成」について質問をしました。



太田 文則 議員

令和4年吉富海岸再生プロジェクト業務委託事業について

問 委託した業務の一部を、地域おこし協力隊員や職員が手伝ったとすれば、受注先からすると非常にうれしい話と考えます。企業選定方法、参加企業数、受注企業名、令和4年6月30日に企業版ふるさと納税として1,000万円を寄付した企業名をお答えください。

答 未来まちづくり課長

企業選定方法は公募型プロポーザル、参加企業数は1社で、受注企業は(株)LOCAL2、寄付をした企業名はアサヒエスティーシー(株)です。

令和4年度吉富町デジタル環境整備事業委託業務について

問 企業選定方法、参加企業数、受注企業名、この契約で配備した高機能パソコン3台の設置場所、令和4年7月29日に企業版ふるさと納税として550万円を寄付した企業名をお答えください。

答 教務課長

企業選定方法は公募型プロポーザル、参加企業数は1社で、受注企業は(株)LOCAL2、シティプロモーションについては関東圏ローカルテレビ局東京MX、パソコンはフォーユー会館3階パソコン教室に設置しています。寄付をした企業名は(株)サードウェーブです。



議会・議員活動

5月23日 全国町村議会議長・副議長研修会及び国会議員への要望活動にて、山本定生議長と矢岡 匡副議長が出席。

7月4日 上下水道施設、山国川樋管、黒川排水機場の視察研修を実施
本町議会議員は、町内6カ所の施設を視察しました。当日は、上下水道課職員、地域振興課職員、建設課職員、特に山国川樋管では山国川河川事務所の中島清文管理課長から説明を受け、施設の役割と維持管理の労苦を研修することができました。



幸子浄水場

地下水源から汲み上げた水を上水道として利用可能にするための施設。



吉富クリーンセンター

下水道汚水を微生物の力を利用して、放流に適した水質に処理する施設。



山国川の樋管

大雨などで発生した外水を防ぐための水門施設。



黒川の排水機場

大雨などで発生した内水を強制的に送り出す施設。

九州北部の豪雨災害お見舞い

九州北部を中心にこれまでに経験したことのないような大雨が続き、多くの方々が被災され、お亡くなりになりました。謹んでお見舞い、ご冥福をお祈りいたします。

次回予告

次の定例会の開催は、9月になります。請願、陳情等がありましたら、8月末日までに議会事務局に提出してください。 議会事務局